

〔ご参考〕 過年度の支払もれ等による追加支払件数・金額

	2001-2005 年度平均	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度 (注1)	2013年度	2014年度
件数 〔単位：件〕	17,949	15,356	9,303	1,828	233	123	122	2,715	69	95
金額 〔単位：百万円〕	3,182	1,953	1,306	149	14	9	30	7	11	17

※ 2001年度から2010年度の数值は、2011年12月16日付、金融庁ホームページにて公表された数值と同様です。

注1 2012年度の支払もれ等の数值（2,715件・7百万円）のうち、保険金・給付金以外の追加的な支払いは2,647件・2百万円となっております。また、この2,647件・2百万のうち2,626件・0.8百万円は、変額年金保険の初回年金支払いにかかるシステムトラブルに伴い、遅延利息の追加的なお支払いを行ったものです。

[詳細はこちら \(2013年3月25日 ニュースリリース\)](#)

	2015年度 (注2・3)			2016年度 (注4・5)		
	内部発見	外部発見		内部発見	外部発見	
件数 〔単位：件〕	57	51	6	45	43	2
金額 〔単位：百万円〕	4	2	2	3	3	0

注2 2015年度には、上記のほか、2014年度以前に保険金等のお支払いを行った事案に係る追加的なお支払いを、23件・2百万円実施しています。

注3 2015年度の支払もれ等の数值（57件・4百万円）のうち、保険金・給付金にかかる追加的なお支払いは44件・2.28百万円となっております。また、この44件・2.28百万のうち41件・2.20百万円は、当初の支払後2営業日後に実施した事後検証で、速やかに追加的なお支払いを行ったものです。

注4 2016年度には、上記のほか、2015年度以前に保険金等のお支払いを行った事案に係る追加的なお支払いを、58件・4百万円実施しています。

注5 2016年度の支払もれ等の数值（45件・3百万円）のうち、保険金・給付金にかかる追加的なお支払いは38件・3.26百万円となっております。また、この38件・3.26百万のうち35件・3.21百万円は、当初の支払後2営業日後に実施した事後検証で、速やかに追加的なお支払いを行ったものです。